



2025年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社 Orchestra Holdings
代表者名 代表取締役社長 中村 慶郎
(コード番号：6533 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 CFO 五代儀 直美
(TEL. 03-6450-4307)

**連結子会社（株式会社 Sharing Innovations）の
通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社の連結子会社である株式会社 Sharing Innovations が、通期個別業績実績値と前期実績値との差異について、添付の通り公表しましたので、お知らせいたします。

(添付)

別紙：「通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ」

以 上



2025年2月14日

各位

会社名 株式会社 Sharing Innovations
代表者名 代表取締役社長 信田 人
(コード番号: 4178 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 西田 祐
(電話番号 03-6456-2451)

通期個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

2024年12月期の通期個別業績につきまして、前期個別実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年12月期通期個別実績値と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2023年12月期	5,014	142	148	35	9.59
当期実績値 (B)	5,157	247	251	129	34.65
増減額 (B-A)	143	105	102	93	—
増減率 (%)	2.9	74.3	69.0	261.4	—

2. 差異の理由

当社は、2022年12月期の第3四半期より、外部環境の変化に伴ってデジタルトランスフォーメーション事業内のクラウドインテグレーション領域の売上の伸びが鈍化し、事業の構造改革に取り組んでまいりました。その後、コスト最適化と売上拡大の両軸で改革が進み、2023年12月期第3四半期より安定的に利益が出る体質へ復帰いたしました。2024年12月期においては、クラウドインテグレーション領域にて、従来注力してきた中・小型案件で、受注ルールの適正化、案件管理の徹底による遅延の発生（追加コストの発生）の抑制等の効果により、収益性が向上いたしました。また、高難易度・大規模案件を扱うエンタープライズへの進出を開始し、第4四半期においては、売上全体に占めるエンタープライズ向けの割合が約4割を占めるに至りました。エンタープライズ向けは高難易度である分、高単価であり、その割合が増えることで収益性の改善に寄与しております。なお、前期2023年12月期に、一部の取引先に対して貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したこと等により、当期純利益の増減率が大きくなっております。

以上

ご注意：

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。